

第17回 フェイスブック (Facebook) は役に立つのか???

フェイスブック (以下、「FB」) をはじめとする、いわゆるSNSを事業のPRに使おうという話については、賛否両論あります。

個人でも、特にITスキルは皆無の人でも、普通に毎日、FBでの情報発信を楽しんでいる方はたくさんいます。技術的なハードルはほぼ無いと言っていいでしょう。デジカメやスマホで撮った写真をアップするのも、ちょっと教えてもらえばすぐできます。お金も特にかかりません。

試しに、北海道社会就労センター協議会のページをご覧ください (FBのアカウントをお持ちでない方も、画面からすぐ登録できます)。

<https://www.facebook.com/d.selpkyo/>

特にプロの手も借りていませんし、お金もかけていません。それでも、写真付きでリアルな情報を伝えることができるのはおわかりかと思います。

一方、気のきいたコンテンツ (内容) を、繰り返し投稿するのは厳しいと感じる方も多いでしょう (これはどんなメディアでも同じですが・・・)。また、人手がかかるのに見合った効果があるか、やってみなければわからない部分も確かにあります。

障がい者就労支援の事業所では、まだあまりFBを活用されていないところも結構あるようですが、その理由として、SNSに対する抵抗感もあるかもしれません。ネット上の情報発信というものに、あやしき、あやうさを感じる方は多いと思われる。確かに、あやしい話も多いです (・_・;)。

このように色々なご意見はあると思いますが、時代の趨勢からすれば、具体的に検討しないで初めから一切やらないという意思決定は、ちょっと考えにくいと思います。そこで、ご検討の一助に、活用の考え方の一例をご紹介します。

皆さまの法人・事業所にとって、ある目的のために何らかの情報発信をしたいものがあると思います。その「目的」とは、例えば「利用者募集」とか、「工賃向上」とか、「職員募集」とか、「地域とのつながり」です。それらに関して、写真と短い文章で情報を伝えやすいものが色々あります。利用者募集なら楽しいイベントの風景など、工賃向上なら商品紹介や作業風景や販売会の案内など、職員募集なら日々の仕事の風景や職員の紹介など、地域連携なら地元のイベントの周知などです。それらをFB上にアップするのは、やってみれば実に簡単なことです。

続けて、利用者さんやそのご家族、職員さん、関係者の人達にも、実は既にFBをやっている人は相当多いはずですから、「当事業所もフェイスブック始めました (*^o^*) !」と周知の上、「閲覧して、面白いと思ったら「いいね!」や「シェア」をお願いします♪!」と呼びかけることができます。そうなれば、その人たちから情報が横に広がって行きます。横に広がるどころが、従来のホームページやブログにない特長です。

なお、経営コンサルタントとして言えば、FBの活用も「マーケティング戦略」全体の中

でのツールの一つですので、あくまでも全体の戦略の一環として検討していただきたいと考えます。

「マーケティング」の考え方と手法につきましては『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ (平成27年度改訂版)』19ページ以下でご説明しております。

<http://www.shougai-syuuro.jp/upload/2015050814310759812.pdf>